

第8回コンクリート生産性向上検討協議会  
平成31年3月14日

資料3-3

# 土木構造物設計ガイドラインの改定(案)

---

# 土木構造物設計ガイドラインの改定概要

- 土木構造物設計ガイドラインは、平成8年に、土木構造物の生産性向上の一層の促進を図ることを目的に策定され、土木構造物の生産性の向上に資する設計の考え方を示している
- H8策定時の設計の考え方は、標準化が中心的であったが、今般の社会環境の変化や技術・工法の進展を踏まえ、**「全体最適化」に基づいた考え方**とするため、**平成30年度内の改定**を目指す

## 社会環境の変化

H8 労働者の高齢化、熟練技能工の不足



H30 さらに高齢化、熟練技能工の不足  
自然災害の激化、頻度の増加  
社会インフラの老朽化の進行

## 技術や工法の進展

H8



H30 生産性向上に資する**新技術・工法の普及**

- ・機械式鉄筋継手工法
- ・機械式鉄筋定着工法
- ・流動性を高めたコンクリート(スランプ8→12cm)
- ・埋設型枠
- ・プレハブ鉄筋

**改定方針： 社会環境、技術や工法の変化を踏まえた、さらなる生産性の向上**